

平成 20 年 9 月 2 日

各 位

西日本シティ銀行
NCB 経営情報サービス

中期経営計画「New Stage 2008」

- 地場産業育成を通じた地域との共栄 -

~ 地場老舗企業の第二創業・ベンチャー企業を積極的に支援 ~
ベンチャーファンド「西日本チャレンジファンド2号」の設立および出資について

西日本シティ銀行（頭取 久保田 勇夫）は、当行連結子会社である株式会社 NCB 経営情報サービス（代表取締役社長 岩井 聡）において「西日本チャレンジ投資事業有限責任組合2号」（通称：「西日本チャレンジファンド2号」）を設立（平成 20 年 8 月）し、株式会社九電工（代表取締役社長 橋田 紘一）とともに同ファンドへ共同出資することを決定いたしましたのでお知らせします。

「西日本チャレンジファンド2号」について

当ファンドの特徴

- ・ 当ファンドは、株式会社ドーガン・インベストメンツ（本社：福岡市 代表取締役社長 森 大介）が運営を手掛る「チャレンジ九州・中小企業ががんばれ投資事業有限責任組合（以下、「チャレンジ九州」）」に出資を行い、「チャレンジ九州」と一体運営を図ります。
- ・ これにより、有限責任組合員として、当行、中小企業基盤整備機構、九電工が参画する地域性・社会性の強いものとなります。
- ・ 業種・業歴を問わず、地場老舗企業の第二創業・ベンチャー企業等を積極的に支援します。

設立および出資の経緯・目的

- ・ 中期経営計画に掲げる施策「地場産業の育成を通じた地域との共栄」の具体策として、ベンチャー・第二創業等の企業支援を通じた地場産業育成のため、当ファンド設立・出資を行うものです。
- ・ NCB 経営情報サービスは、従来から銀行系コンサルティング会社として、また、ファンド運営会社として、地場中小企業・ベンチャー企業の種々の経営課題に対応しており、当ファンドの設立にも参画いたします。
- ・ 「チャレンジ九州」との一体運営によるファンド規模の拡大により、地場企業への投資活動をさらに活性化し、地場産業の育成・発展に寄与することを目的としています。

投資対象

- ・ 主な拠点が九州圏内にあり、優れたアイデアや技術、ノウハウ、ビジョンをもって新商品の開発や新事業展開にチャレンジする中小企業を対象とします。
- ・ 株式公開を目指さない中小企業も対象とします。

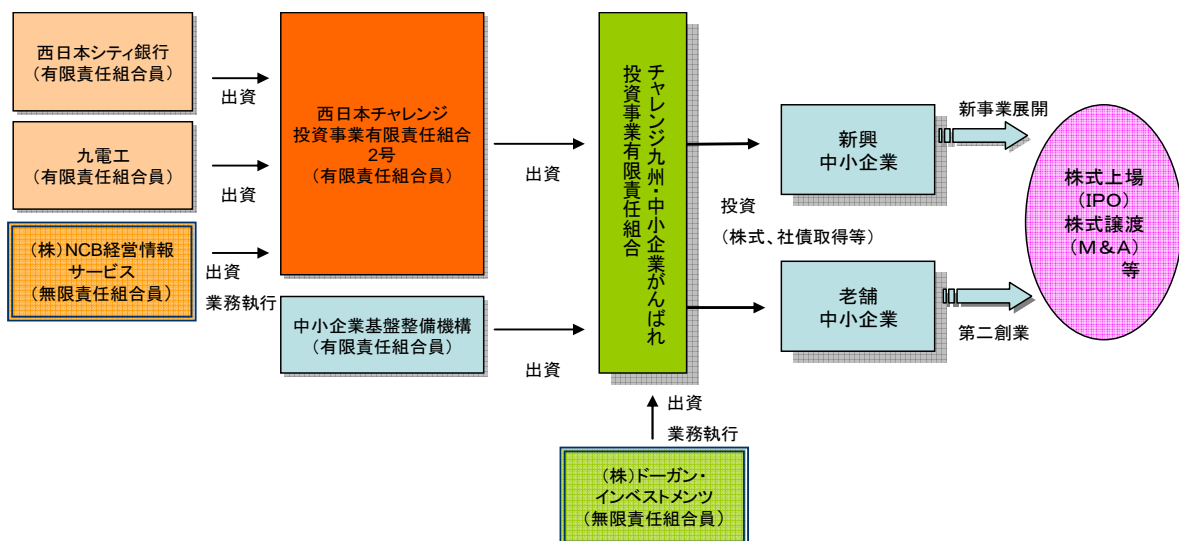
主な支援方法

- ・ 投資先の要望を踏まえ、株式（普通株、優先株）、新株予約権付社債、融資等から適切な投融資形態を決定します。
- ・ 投資先事業者に対しては、当行および全ての出資者が可能な限り側面的なハンズオン支援を行います。

「西日本チャレンジ投資事業有限責任組合 2号」概要

ファンド総額	約 5 億円
ファンド設立形態	投資事業有限責任組合
出資者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社九電工 http://www.kyudenko.co.jp ・ 西日本シティ銀行 http://www.ncbank.co.jp ・ 株式会社 NCB 経営情報サービス http://www.johoza.co.jp/
投資対象	主な拠点が九州圏内（九州各県・山口県・沖縄県）にあり、優れたアイデアや技術・ノウハウ・ビジョンをもって新商品の開発、新事業展開にチャレンジする中小企業（業種・業歴不問）
主な投資形態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式（普通株・優先株）、新株予約権付社債の取得 ・ 融資、新株予約権付融資
組合の存続期間	約 4 年（但し、2 年を限度に延長可）

スキーム図



本件に関するお問い合わせ

法人ソリューション部 ニュービジネスチーム 担当 加来 ^か _く TEL : 092-476-2754